ＰＤＡ 関西公立高校即興型英語ディベート交流大会２０２３

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2023 年 8 月 19 日（土）09:30-14:00
会場：オンライン（Zoom）
参加校：7 校、12 チーム（兵庫県立神戸高等学校、滋賀県立膳所高等学校、奈良県立奈良高等学校、滋賀県立彦根東高等学校、京都市立堀川高等学校、大阪府立北野高等学校、神奈川県立相模原高等学校［Swing］）
参加者：生徒 42 名、教員 12 名
スタッフ：PDA スタッフ、 同志社大学、広島大学、大阪大学、PDA 認定教育ジャッジ

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION　KDDI Foundation

開会式では、はじめに PDA 代表理事・中川智皓より「いろいろなことにアンテナにはることでたくさんのチャンスを得ることができるということを私自身も実感しています。本日のディベートでも論題が毎回変わります。ディベートを通して真剣に論題について考えることがこれから必ず役立ちます。」とメッセージが送られました。次に、大阪府立北野高等学校の天野校長先生より「本日はあなた自身を英語で表現し、論理的に考え、知識を広げ、プレゼンテーションスキルを向上させる機会です。交流を楽しみながら頑張ってください。」と英語でご挨拶いただきました。そして、滋賀県立膳所高等学校の冨江校長先生より「間違いを恐れず、間違いから学ぶこと、多くの友達を作ること、素晴らしい思い出を作ることに励んでください。」と英語でスピーチいただきました。その後、PDA スタッフから参加校の紹介やこれまでの関西交流大会の様子に関する紹介、POI（Point of Information：相手チームに質疑応答を要求するルール）の練習が行われました。

北野高校・天野校長先生ご挨拶

膳所高校・冨江校長先生ご挨拶

全員で「POI！！」

北野高校 POI の練習風景

POI の練習が終わると、早速第 1 ラウンドの始まりです。第 1 ラウンドのお題は **“Students should be prohibited from using ChatGPT. （生徒の ChatGPT の利用を禁止すべきである。）”** でした。肯定側は、生徒が考えることを放棄し成長につながらない点や、誤った情報を鵜呑みにするリスクなどについて説明し、否定側は、効率よく学習する重要性や、批判的思考の向上などについて説明しました。ディベート後はお互いのスピーチ内容について確認したり、「花火大会やお祭り行った？」「こんな校則ある？」と話したり交流を深めました。その後ジャッジから勝敗の説明と個人フィードバックが伝えられました。

学校での様子（北野高校 A チーム）

アイコンタクトをしながらスピーチ（左：相模原 VS 膳所 A）（右：神戸 B VS 彦根東 A）

健闘をたたえ画面越しにエアー握手（左：奈良 B VS 北野 A）（右：彦根東 B VS 奈良 A）

エアー握手（神戸 B VS 彦根東 A）

交流の様子（北野 B ）

ディベート後の交流（左：堀川 VS 膳所 B）（右：神戸 A VS 北野 B）

ディベート後の交流（彦根東 B VS 奈良 A）

続く第２ラウンドのお題は、“**Japan should increase defense spending.（日本は防衛費を増額すべきである。）**”でした。日本以外の関係する国を挙げ、日本を取り巻く国際関係について言及するなど説得的なスピーチが見られました。POI も活発に飛び交い、質疑応答を通して議論を深めました。

POI！（堀川 VS 彦根東 A）

堂々とスピーチ（北野 B VS 奈良 A）

POI！（北野 B）

エアー握手（彦根東 B VS 神戸 A）

エアー握手（相模原 VS 奈良 B）

そしてジャッジが高く評価した生徒６名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は“**Japanese students should go to universities abroad.　（大学は海外に進学すべきだ。）**”でした。海外の大学でしか得られないもの、日本の大学でしか学べないことについて議論するだけでなく、多様なキャリアにも言及し、大学生活だけでなく大学卒業後の学びについても取り上げました。エキシビションディベートを聞いていた生徒が挙手で投票し、Government（肯定側）の勝利となりました。

ジェスチャーも交えながらスピーチ

エキシビションディベートでも POI！！

閉会式では、表彰式のあと、校長先生からご講評をいただきました。奈良県立奈良高等学校の前田校長先生より「この大会で得た力を新たなチャレンジに繋げてほしい。今日出会って交流した仲間がこれからの人生に影響し合える仲間になることを願っています。」とメッセージが送られました。そして、滋賀県立彦根東高等学校の伊吹校長先生より「自身の英語力を試し、プレゼンテーションスキルをブラッシュアップする機会になったことと思います。よい思い出になったのではないでしょうか。これからも頑張ってください。」と英語でご講評いただきました。

最後に全員で自分に対して労いの拍手を送り、関西交流大会が終了しました。

奈良高校・前田校長先生によるご講評

彦根東高校・伊吹校長先生によるご講評

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

- PM　北野高校　＿＿＿＿＿さん
- LO　膳所高校　＿＿＿＿＿さん
- MG　堀川高校　＿＿＿＿＿さん
- MO　神戸高校　＿＿＿＿＿さん
- LOR　奈良高校　＿＿＿＿＿さん
- PMR　彦根東高校　＿＿＿＿＿さん

〈チーム賞〉

1 位　奈良高校　A チーム
2 位　彦根東高校　A チーム
3 位　北野高校　B チーム
4 位　神戸高校　A チーム
5 位　堀川高校

1 位　奈良高校　A チーム

2 位　彦根東高校　A チーム

3 位　北野高校　B チーム

4 位　神戸高校　A チーム

5 位　堀川高校

〈ベストディベータ賞〉★は 2 回選ばれた生徒

- _____さん（相模原）★
- _____さん（彦根東 A）★
- _____さん（相模原）
- _____さん（北野 B）
- _____さん（北野 A）
- _____さん（北野 A）
- _____さん（堀川）
- _____さん（奈良 B）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（膳所 B）
- _____さん（神戸 A）

ベストディベータ賞

〈POI 賞〉

- _____さん（相模原）
- _____さん（相模原）
- _____さん（北野 B）
- _____さん（北野 B）
- _____さん（北野 A）
- _____さん（堀川）
- _____さん（彦根東 B）
- _____さん（彦根東 B）
- _____さん（奈良 B）
- _____さん（奈良 B）
- _____さん（奈良 A）
- _____さん（膳所 B）
- _____さん（膳所 A）
- _____さん（神戸 B）
- _____さん（神戸 B）

ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

・自分の成長を感じて本当に嬉しかった。（神戸高校）

・みんなすごく発音良く、淀みなく話されていてリスニングが難しく話すのも上手に行けなかったので次こそは上手く話せるように英語になれるようにしたいです。（膳所高校）

・自分が考えていた意見に対する反論が、違う視点に立つからこその、自分には無い考えばかりだったので、聞いていて楽しかった。ディベート自体始めてから日も浅く、分からないことばかりでしたが、意見を短い間で構築して主張するということがとても面白く、楽しかったです。（膳所高校）

・最近議論されている論題について議論でき、また、他校とも交流できて、とても良い機会となりました。（膳所高校）

・関西のレベルの高い高校のチームと対戦させていただくことができて、あまりに自分が無力で諦めそうになったけれど、それと同じくらい学んだことが多くて凄く良い体験になりました。今日、改めて即興型ディベートって楽しいな！と思いました。（彦根東高校）

・思うように言いたいことが言えないことも多くあったが、以前よりも自分の役割を理解してディベートに臨めた。（彦根東高校）

・本当に貴重な体験になった。これからの後輩にも参加して欲しいと思う。（堀川高校）

・単純に本当にいい思い出になった。ありがとうございました。（奈良高校）

・とても勉強になった。本当にすごすぎた。私ももっと頑張りたい。（奈良高校）

・どのような表現が良いか、説得的か、と言うことや構成など学べることがたくさんありました。（北野高校）

・今日は本当に楽しかったです！論題も考えがいのある内容でしたし、ジャッジのコメントやアドバイスも今後に繋げていきたいです！ありがとうございました。（北野高校）

・様々な意見を聞くことが出来て、視野が広くなったと実感した。物事の多面性を感じることが出来た。（北野高校）

・二試合しかありませんでしたが、いろんな人と交流ができてすごくたのしかったです！！（相模原高校）

（教員の声）

・防衛費増額とチャット GPT というどちらもホットな話題について生徒たちが関心をもち、自分の意見を伝えるという大変貴重な機会になりました。ありがとうございます。

・生徒が一生懸命参加しているのを見れた。

・ディベートは英語力や思考力、対話する力をつけていくのに効果的だ、とあらためて思いました。また、必死で考えたり英語でどう表現したらいいのだろうと必死になる、そういう incentive になるのがとてもいいなあ、他にここまで urgent な incentive を生徒にもたせる方法はないのではないか、と思いました。

・他チームのみなさん、スタッフやジャッジのみなさんには有意義な機会をいただき、心よりお礼申し上げます。対戦を通して、生徒達の成長が感じられる一日でした。ありがとうございました。

（現地の様子）

滋賀県立膳所高等学校

滋賀県立彦根東高等学校

大阪府立北野高等学校